



【支援企業紹介】

三陸鉄道株式会社

三陸復興のシンボル

完全復旧まであと少し P2



平成25年度
サービス利用満足度
調査結果 P4

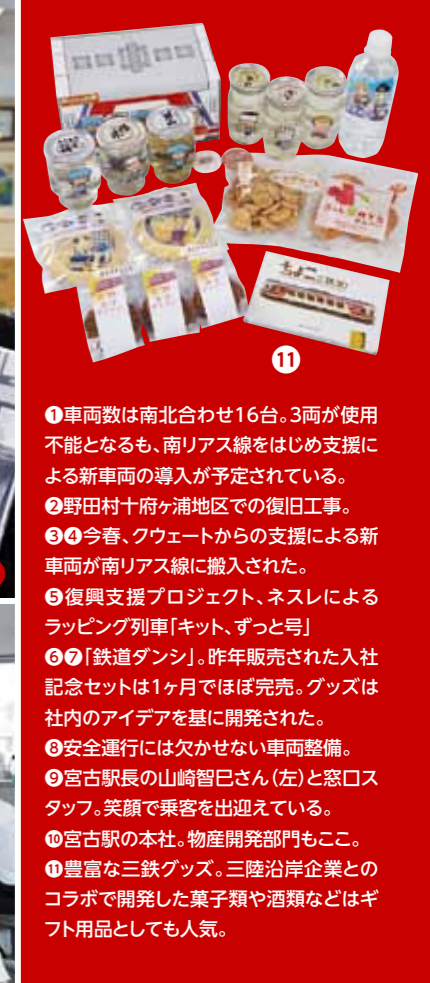
県からのお知らせ P6

平成25年度 **いわて商談会開催** P7

新職員紹介 P7

設備貸与制度 P8

いわて特産品コンクール P8
出品者募集中



三陸復興のシンボル、完全復旧まであと少し

発信!!
いわての
力こぶ

我が社の
力こぶ
はコレ!

平成26年4月の完全復旧を掲げ、工事が急ピッチで進む三陸鉄道。三陸復興のシンボルとして注目を浴びる一方、震災前から続く赤字経営を解消すべく、鉄道以外での事業収益を目指すユニークな手法に注目が集まっている。絶大な知名度を利用し、新たな地域復興とも結びついた三鉄の戦略について、事業本部長の坂下政幸さんに伺った。

18年連続の赤字経営で得られた決して諦めない企業姿勢

「会社として生き残るため厳しい決断もしてきましたが、それだけではダメ。三鉄はこれから何をやっていくべきかを社員自らが考え、それを実行していかなければ」。

厳然とした決意表明でありながら、取締役事業本部長の坂下政幸さんの口調には、それすら楽しもうとするポジティブさがあった。東日本大震災で甚大な被害を受けながら、来年4月の全線開通にむけ復旧工事を進める三陸鉄道株式会社。しなやかでたくましく、決して諦めないその企業姿勢が今、被災地復興の大きな原動力になっている。

三陸鉄道の誕生は昭和56年(1981)。

沿岸を結ぶ三陸縦貫鉄道構想を実現すべく、県と沿岸市町村運営による第三セクター鉄道として設立された。翌年には国鉄から引き継いだ未開業区間の建設も終了し、北リアス線・南リアス線の営業が始まる。久慈市から釜石市まで総延長107.6キロメートルの鉄路は沿線住民の期待を乗せ、初年度から収入は黒字を達成。しかし乗客の減少に伴い平成6年から経営は赤字に転落、以来県や市町村からの運営資金を使い、赤字を解消する経営が続いた。

そこに発生した震災は、軌道をズタズタに分断し、橋梁や駅舎は流され、車両3台も使用不能となった。それでも震災発生5日後、三陸鉄道は久慈駅一陸中野田駅間で運行を再開、再起へと踏み出したのである。

オリジナルキャラクター開発で鉄道事業以外の収益を確保

今年4月3日には盛駅—吉浜駅間の運転が再開し、全線開通への道筋が見えてきた。だが平成6年から続く赤字は、今回の復旧によっても解消するとは考えられない。だからこそ三陸鉄道では今、独自の鉄道グッズの企画開発にも力を注いでいる。

きっかけは平成17年の「赤字せんべい」のヒットだが、現在は公式ホームページ内にオンラインショップも設置、取り扱い商品は80アイテムを超えるほど。震災後は年間4品目の新商品を目標に物産開発に取り組む。意外なのは、外部の商品アドバイザーの協力を得ながらも基本的なアイデアは社内ですべてなされていることだ。「出来るだけ開発費をかけず『思いついたらやる』のが当社の商品開発」と坂下事業本部長は笑うが、事業者だからこそ発想できる企

画が、新たな展開を生むことがある。

昨年4月に登場した「鉄道ダンシ」は、その最たるものだろう。多くの「鉄道もの」と違い女性をターゲットにし、キャラクターイラストは公募、人気イラストレーターによるデザインの後、野田畑駅と恋し浜駅の再開に合わせて「入社式」まで行った。このプロジェクトの開発費に、当センターのいわて希望ファンが活用されている。反響は大きく、震災復興商品として全国のイオンで販売されている三陸産ファスト・フィッシュのパッケージへの採用をはじめ、西武鉄道との共同による新キャラクターの誕生が今秋に予定されている。「当社にはパッケージやグッズ制作による使用料が入る。版元や製造元になるのが、鉄道ダンシを開発した時からの戦略でした」と、坂下事業本部長も手応えを語る。

復興に向け、自ら知恵を絞り行動する三陸鉄道。しかし本当の挑戦は、来年春、全線再開を果たしたのち始まる。

完全復旧こそ地域と支援者への最大の恩返し

鉄道マンにとって、震災直後の運行時に見たお客様の笑顔は最高の喜び。被災地では唯一目に見える形で復興が進む三鉄はまさに復興のシンボルなのです。全国からの支援への感謝と地域復興のためにも、我々は完全復旧で応えるしかありません。



取締役事業本部長
坂下 政幸

会社名 三陸鉄道株式会社
本社 岩手県宮古市栄町4
本電話 0193-62-8900
代表者 望月正彦
創業 昭和56年11月10日
従業員 61名
従業員種 鉄道事業・第2種旅行業・損害保険代理業・物品販売業
URL http://www.sanrikutetsudou.com/

三陸鉄道株式会社
【支援企業紹介】宮古市



平成25年度 サービス利用満足度調査結果

調査目的

センターが提供したサービスへの満足度及びその理由等の調査を行い、その結果をサービス内容・方法の検討に資することにより、センターのサービス内容の充実及び質の向上を図ることを目的とする。

調査概要

- (1)実施時期 平成25年6月21日(金)～7月5日(金)
 (2)対象者 平成24年度内に当センターの提供するサービスをご利用頂いた企業・個人等
 (3)項目 サービス利用の満足度(5段階)及びその理由(複数回答可)、センターに対する要望・意見
 (4)その他 次の事業については、既にアンケートを実施済み(※下記についての満足理由および不満理由は調査していない)
 ①北いわて産業支援事業(交流会及び展示会出展支援) / ②いわて希望ファンド(SMTS出展事業、中小企業等試験販売事業) / ③物産販路開拓事業
 ④商談会(発注・受注) / ⑤工程改善指導 / ⑥ソフトウェア開発業務取引支援事業(交流会及び展示会支援) / ⑦機械要素技術展出張支援事業

調査結果

総合満足度 **3.97** (昨年度 3.97) ※中期経営計画における目標値4.00

回答率 **67.6%** [1,064/1,575] (昨年度 60.9%)

※満足度算出方法 満足(ウェイト：5)から不満(ウェイト：1)までの回答の加重平均により算出

事業名	満足度	対象数	回答率	回答率
総合支援事業	4.18	405/1,575(25.7%)	223/405(55.1%)	223/1,064(20.1%)
取引市場開拓支援事業	4.05	245/1,575(15.6%)	191/245(78.0%)	191/1,064(18.0%)
設備貸与等事業	4.69	122/1,575(7.7%)	92/122(75.4%)	92/1,064(8.6%)
新事業・新分野進出支援事業	3.69	774/1,575(49.1%)	540/774(69.8%)	540/1,064(50.1%)
研究開発支援事業	4.63	29/1,575(1.8%)	18/29(62.1%)	18/1,064(1.7%)

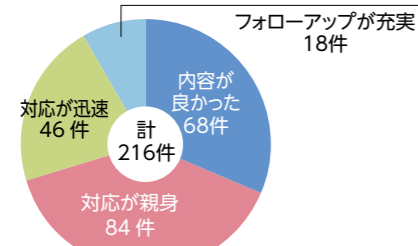
満足度内訳

事業名	満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	計
総合支援事業	4.18	115	48	47	11	2	223
取引市場開拓支援事業	4.05	81	62	28	17	3	191
設備貸与等事業	4.70	72	15	3	1	1	92
新事業・新分野進出支援事業	3.69	125	146	230	14	9	540
研究開発支援事業	4.63	13	5	1	0	0	18
全体	3.97	406	276	309	43	15	1,064

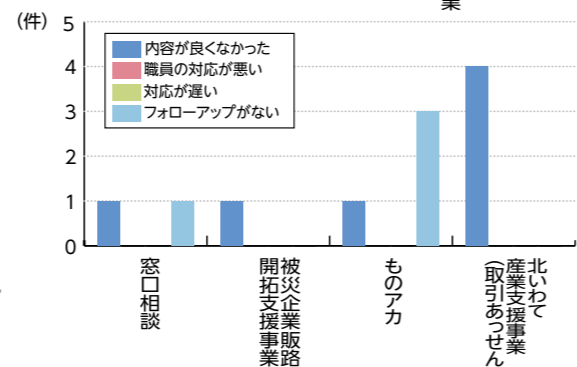
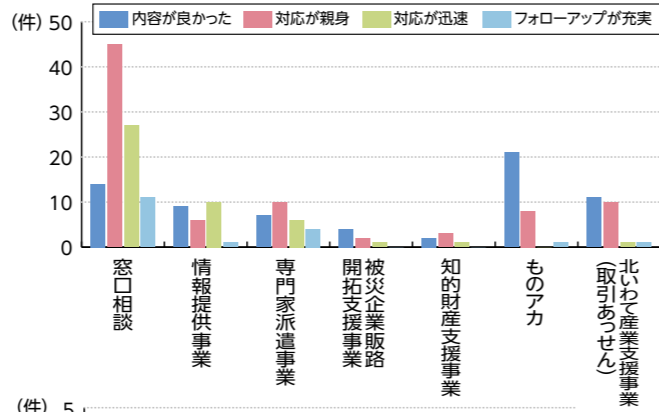
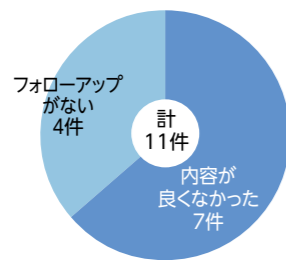
満足理由および不満理由の各割合

【総合支援事業】

満足理由
(総合支援・各事業)



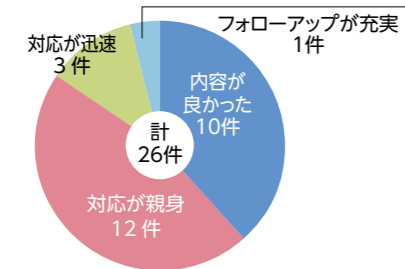
不満理由
(総合支援・各事業)



※北いわて産業支援事業(交流会及び展示会支援)の満足理由および不満理由は調査していない。

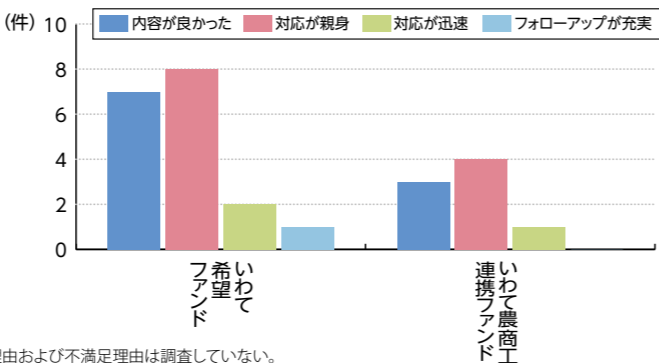
【新事業・新分野進出支援事業】

満足理由
(新事業進出・各事業)



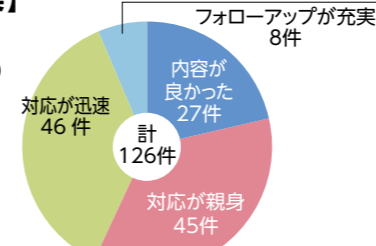
※今回の調査では不満回答なし。

※いわて希望ファンド(SMTS出展事業、中小企業等試験販売事業)、物産販路開拓事業の満足理由および不満理由は調査していない。

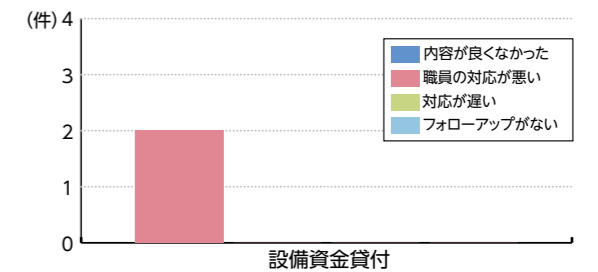
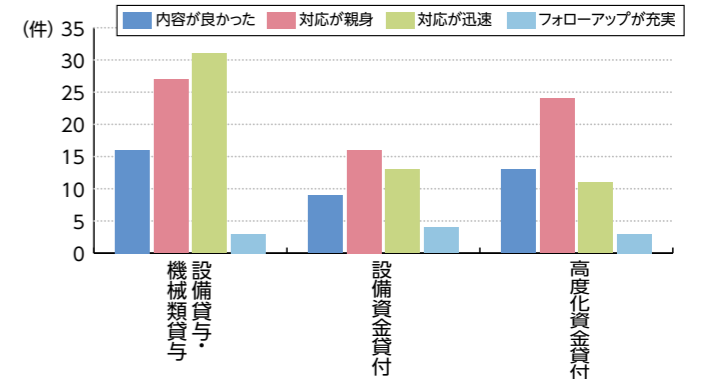
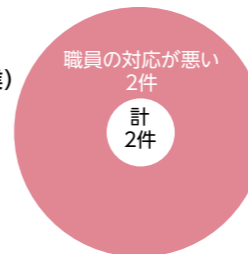


【設備貸与等事業】

満足理由
(設備貸与等・各事業)

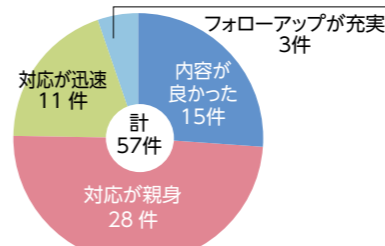


不満理由
(設備貸与等・各事業)

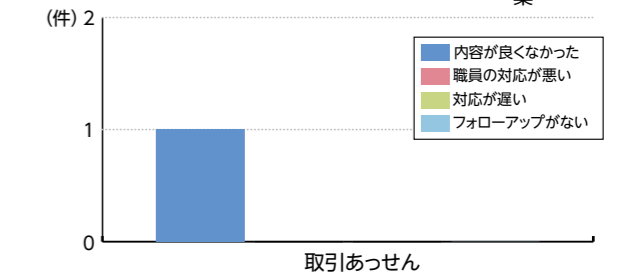
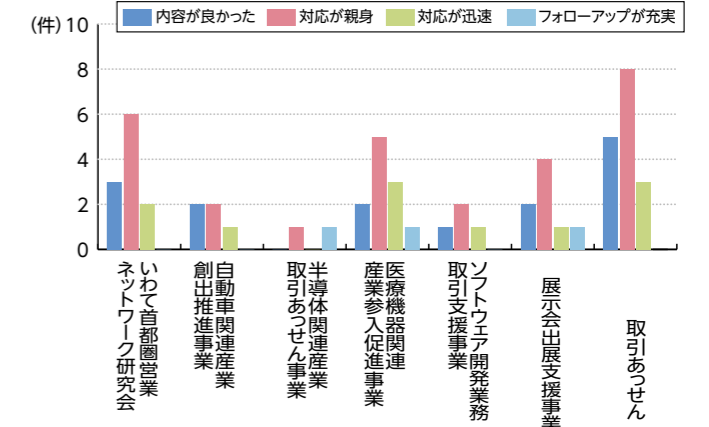
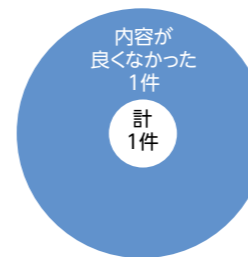


【取引市場開拓支援事業】

満足理由
(総合支援・各事業)



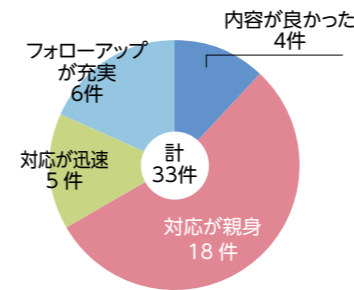
不満理由
(取引支援・全体)



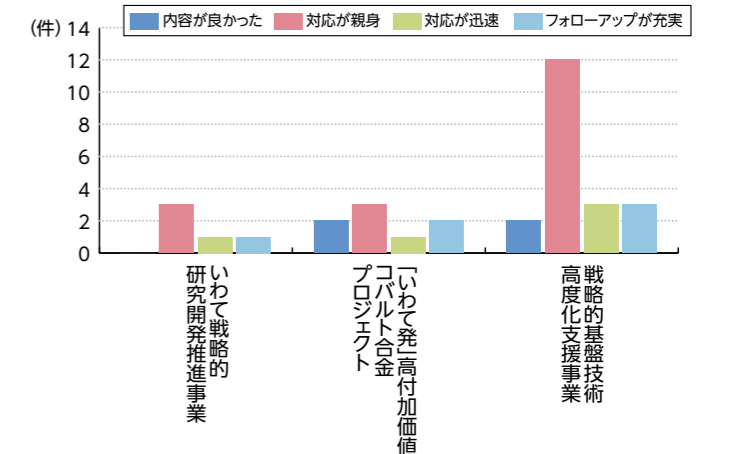
※商談会(発注)、商談会(受注)、工程改善指導、ソフトウェア開発業務取引支援事業(交流会及び展示会支援)、機械要素技術展出張支援事業の満足理由および不満理由は調査していない。

【研究開発支援事業】

満足理由
(研究開発・全体)

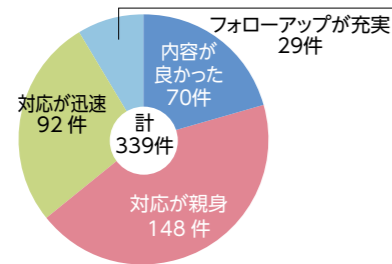


※今回の調査では不満回答なし。

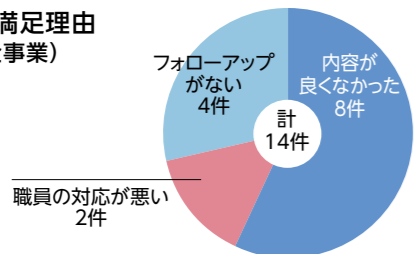


【全体】

満足理由
(全事業)



不満足理由
(全事業)



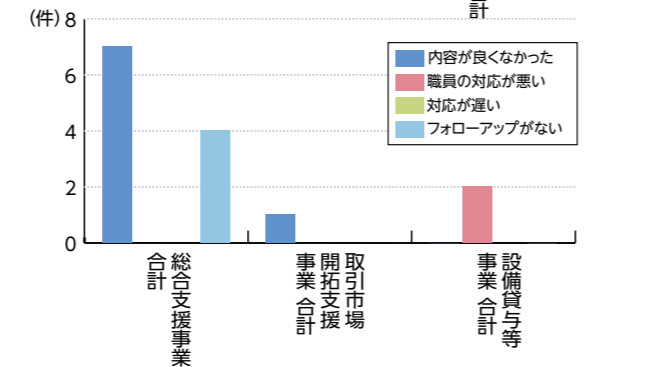
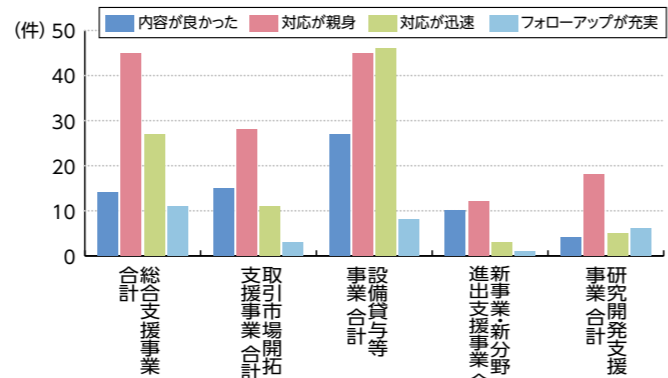
分析結果

全体の満足度は、昨年度と変わらず3.97となり、中期計画において目標としている4.00を達成することはできなかった。この要因としては主に、顧客数の多い商談会の満足度の低調が挙げられ、これまでの調査で、4点台を記録したことはなく、毎年3点台前半から中盤を推移している。また回答率に関しては、昨年に引き続いて上昇傾向にある。さらなる回答率改善にあたっては、事前に実施されたアンケートの回答率が高い(717/895、80.1%)ことから、事業実施から期間を空けずタイムリーに調査を実施することが重要であると思料する。

次に「満足・やや満足」の理由と割合を見てみると、全体で「職員の対応が親身」とする回答の割合が43.7%と高く、顧客に寄り添った支援が功を奏していることが分かる。しかし一方で、「フォローアップの充実」の回答割合は8.6%となった。したがって事業終了後も、顧客が再びアクションを起こすまで待つのではなく、当センターから積極的に各顧客へコンタクトをとり、必要に応じて訪問、さらなる支援の実施等を検討していく必要があると考える。

また、少数ではあるが「不満・やや不満」といった回答もあり、その内容としてはマッチングの不調に起因すると考えられるものが複数あった。

全体を通して、「今後とも宜しくお願いします」「今年も利用します」などといった声が非常に多く、当センターが提供する事業・サービスへの期待と関心のさらなる高まりが感じられる。



平成25年度 いわて商談会開催

当センターでは、取引拡大をめざす県内外の受・発注企業の皆様が一堂に会して商談及び相互交流を行う場を毎年提供しております。本年度は下記のとおり開催する予定となっております。詳細につきましては、別途郵送でご案内をさせていただきます。



開催日時 平成25年11月21日(木) ●商談会(13:00~17:45) ●懇親会(18:00~19:30)

会場 ホテルシティプラザ北上 (岩手県北上市川岸1-14-1 TEL 0197-64-0001)

募集対象 岩手県内外の受発注登録企業及び県外発注企業 (casting, iron, machinery, sheet metal, press, resin, surface treatment, electronics, metal materials, etc.)

募集企業数 発注企業 50社
受注企業 150社

参加料 (予定)

商談会

- いわて産業振興センター賛助会員 =1名につき3,000円
- いわて産業振興センター非賛助会員 =1名につき5,000円
- 岩手県外企業 =1名につき7,000円
- 発注企業=無料招待



懇親会

- 受注企業 1名につき 5,000円
- 発注企業 無料招待

申込方法 別途郵送にてご案内申し上げます。

申込・問合せ先 (公財)いわて産業振興センター ものづくり振興グループ
TEL:019-631-3822 FAX:019-631-3830 E-mail:sitauke@joho-iwate.or.jp
ホームページ: <http://www.joho-iwate.or.jp/>

いわて花巻空港から ひとつ飛び!!



運航ダイヤ (8/1~10/26)

▶札幌線[JAL]			
いわて花巻	札幌	いわて花巻	
CRJ	JAL2830	CRJ	JAL2831
8:45	9:40	7:25	8:20
JAL2834		JAL2833	
13:25	14:20	12:05	13:00
JAL2836		JAL2837	
15:25	16:20	14:00	14:55
E70	JAL2838	E70	JAL2839
17:45	18:40	16:20	17:15
▶大阪(伊丹)線[JAL]			
いわて花巻	大阪(伊丹)	いわて花巻	
E70	JAL2190	E70	JAL2181
10:10	11:35	8:15	9:40
E70	JAL2182	E70	JAL2183
12:30	13:55	10:35	12:00
E70	JAL2184	E70	JAL2185
14:55	16:20	13:00	14:25
E70	JAL2190	E70	JAL2187
18:45	20:10	16:50	18:15
▶名古屋(小牧)線[FDA]			
いわて花巻	名古屋(小牧)	いわて花巻	
E70E5	FDA352	E70E5	FDA351
8:55	10:10	7:15	8:25
E70E5	FDA356	E70E5	FDA355
16:20	17:35	14:40	15:50
E70E5	FDA358	E70E5	FDA357
19:00	20:15	17:20	18:30
▶福岡線(直行便)[JAL]			
いわて花巻	福岡	いわて花巻	
CRJ	JAL3526	CRJ	JAL3523
14:05	16:10	11:35	13:35
▶福岡線(小牧乗継線)[FDA]			
いわて花巻	名古屋(小牧)	福岡	名古屋(小牧)
E70E5	FDA352	E70E5	FDA306
E70E5	FDA356	E70E5	FDA355
8:55	10:10	12:30	13:00
E70E5	FDA358	E70E5	FDA357
16:20	17:35	19:20	15:30
E70E5	FDA356	E70E5	FDA306
E70E5	FDA358	E70E5	FDA357
16:20	17:35	19:20	18:30

①10/1~10/26は5分早発。②10/1~10/26は5分早着。※この他、大阪(伊丹)経由福岡、大分、長崎、宮崎、鹿児島などの乗継便もあります。

航空券のご予約・ご案内 **FDA TEL:0570-55-0489 (7時~20時)** **岩手県空港利用促進協議会[事務局]** 岩手県県土整備部空港課 **JAL TEL:0570-025-071 (7時~20時)** <http://www.hna-terminal.co.jp/> いわて花巻 検索 ☎019-624-6330

新任職員紹介

センターに7~8月から新たに勤務している職員、コーディネーターをご紹介します。

ものづくり振興グループ
主事 堀合敬憲

7月より、いわて産業振興センターのものづくり振興グループで働かせて頂くことになりました。岩手は製造業が盛んですので、事業を通してより岩手を盛り上げていくべく、お手伝いをしたいと思っています。よろしく申し上げます。

研究開発コーディネーター
田澤潤

民間企業において、公的機関の支援を受けた研究開発業務に多く携わってきました。これらの経験を活かし、「Made in IWATE」の創造に向けて、県内企業の皆様との協働を進めていきたいと考えております。よろしく申し上げます。

設備貸与制度のご案内

利率を引き下げました!

長期 5年~10年

低利 年1.65% (*昨年度より0.3%引き下げました)

無担保 金融機関の借入枠とは別枠です

制度のしくみ

「設備貸与制度」は、中小企業の皆様が機械・設備を導入するときに、センターがそれを商社・メーカーから直接購入して、低利で割賦販売またはリースをする、公的制度です。



区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	従業員20人以下の県内小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)
貸付期間	原則5年または7年	原則5年または7年
貸付限度額(消費税含む)	100万円~8,000万円	100万円~8,000万円
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(車輛を除く)
保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)	—
利息(貸与損料)リース料	年1.65%	5年=1.822% 7年=1.346%
連帯保証人	法人:代表者含む2人以上 個人1人以上	—

以下のいずれか1つの条件を満たせば、

最長10年、1億円まで貸付可能です。(リースは除く)

- (1) 経営革新計画の承認企業
- (2) 異分野連携新事業分野開拓計画の承認企業
- (3) ISO9000/ISO14000の認証取得企業
- (4) 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- (5) 県内企業5社以上へ下請発注している企業
- (6) 県内企業への下請発注額が年間1,000万円以上の企業
- (7) 申請する設備を設置することで(4)~(6)に該当する企業でも可

東日本大震災で設備または事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

最長10年、据置期間2年利息1.55%で貸付可能です。

※一部、対象とならない業種、設備があります。センターにお問い合わせください。

★貸与損料、リース料引き下げは、平成25年4月以降受付した分からの適用です

お問い合わせ | 総務・金融グループ ☎019-631-3821 FAX019-631-3830 <http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi>

平成25年度 募集要項

いわて特産品コンクール

出品者募集中
申込締切
8/23金

販路開拓に意欲的に取組む県内事業者による新商品等の開発を促進するとともに、これら商品等の普及を図ることを目的に食品並びに工芸品・生活用品のコンクールを開催します



平成24年度
岩手県知事賞 食品部門
のだ塩さばめしの素
(株)長根商店



「なりわい」の再生、
復興加速年!
つなげよう復興!



平成24年度
岩手県知事賞
工芸・生活用品部門
藍染めパーティション
(有)染屋たきうら



入賞者特典

新聞媒体による受賞PR広告

出品者特典

PRパンフレット作成・配布

岩手県アンテナショップ(東京銀座・大阪・福岡)、物産展、商談会など

開催日時等

コンクール部門名称	審査会日時	表彰式日時
食品部門	9月25日(水)9:20	9月26日(木)午後
工芸品・生活用品部門	9月26日(木)9:20	

申込み方法

参加申込書に記入のうえ、FAX又は郵送願います。
参加申込書は(公財)いわて産業振興センターホームページからダウンロードできます。

http://www.joho-iwate.or.jp/bussan/tokusanhinconk_c.pdf

主催/いわての物産展等実行委員会(公益財団法人いわて産業振興センター)・岩手県 ■後援/岩手県市長会

申込み先

いわての物産展等実行委員会(公益財団法人いわて産業振興センター)
〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26 TEL:019-631-3824 FAX:019-631-3830

(公財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

2013年8月10日(毎月10日発行)

発行/公益財団法人 いわて産業振興センター

〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)

TEL.019(631)3823

E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>

編集印刷/川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。